

天授ヶ岡教会

ゴスペルだより 05

Gospel news from Tenjugaoka Church

本当の自由はキリストにある

「もしわたしの言葉のうちにとどまっておるなら…真理を知るであろう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」。(イエス・キリスト)

私たちは自由という言葉が大好きではないでしょうか。自由とは一体なんなのでしょう。「何をやってもいいのだ」というのが自由でしょうか。

人間の歴史は自由を勝ち取る歴史でもありました。奴隷からの解放、性における不平等からの解放、政治的束縛や社会的圧力からの解放、そして今や様々な分野において、様々な「〇〇からの解放」が叫ばれています。

そういう意味では、聖書は「罪からの解放」を語ります。罪とは犯罪だけでなく、神様からの的を外している状態を言います。的を外していると、的外れな事をするようになり、それがひどくなると破壊や死を招くのです。自由だと叫びながら

不自由になり、自由の拳を振り上げて相手を傷つけることにもなりかねません。

自由とは「みずからのわけ」という意味です。私たちは偶然この世界に生まれたのではなく、神様の目的があって生み出されました。その目的—みずからのわけ—を知って、そのわけに従って生きることが本当の自由。そこに自分をフル活用できる自由があるのです。

そんな自由を取り戻すために、自由の源である神様に的を戻すために、神の子キリストは来られました。そして罪からの解放を告げる十字架の救いを打ち立てて下さいました。

このキリストの十字架が、私を罪から解放すると信じ、キリストに聞いて従う時、この世界の真理—まことのことわり—を理解するようになり、私の自由—みずからのわけ—を取り戻し、癒しと回復の道、命の道を歩み始めるのです。

集会案内

日曜日	教会学校	9:30~10:00
	礼拝	10:30~11:30
水曜日	祈祷会	14:00~15:30

※聖書の学びや相談受付もいたします。

※エホバの証人（ものみの塔）や統一協会でお困りの方はご連絡下さい。



あかし「キリストとの出会い」

私の両親はクリスチャンでした。私はキリスト教信仰の中で育ちますが、ある時期からそんな環境が嫌になり、反発するようになりました。多分、自由が失われると思ったからです。高校卒業と同時に教会に行かなくなりました。ただお祈りは忘れませんでした。「神様はおられる」という思いがどこかにあったからです。

やがて結婚を前に、生涯働ける仕事をと、悩みながら探していました。そして祈りました。するとクリスチャンが経営する職場から誘いがあり、「これは神様の導きだ」と感じ、そこで働くようになりました。その職場はキリスト教の集会もしていました。私は最初、渋々集会に出席していましたが、ある時、「キリストはあなたの罪の身代わりに十字架にかかって下さった」と聞きました。幼い時から何度も聞いていた言葉でした。しかしその時、初めて聞いたような、驚きと喜びに包まれました。その出来事の後、私は教会に再び行くようになりました。

神様は私を見捨てず、あきらめないで、救いの御手をさしのべ続けて下さったのです。

「自由を得させるために、キリストはわたしたちを解放して下さいましたのである。」(聖書)

天授ヶ岡教会 男性



日本イエス・キリスト教団

天授ヶ岡教会

牧師 内田 純

〒616-8021

京都市右京区花園天授ヶ岡町 10-28

TEL&FAX 075-463-3209

E-mail tenjuch-1948@oasis.ocn.ne.jp

Website <http://tenjugaoka9561.ec-net.jp/tenjuch/>

京福電鉄嵐山線「妙心寺駅」から徒歩5分。

お隣は天授ヶ岡幼稚園。駐車場がありませんので公共交通機関をご利用下さい。

